

【会議の名称】 第1回古賀市地域公共交通会議

【日時・場所】 平成30年2月23日(金)14:30～15:30 市役所 402会議室

【主な議題】

1. 市長あいさつ及び辞令交付
2. 自己紹介
3. 会長・副会長の互選
4. 会議・議事録の取り扱いについて
5. 公共施設間シャトルバスについて
6. その他

【傍聴者数】 0人

【出席委員等の氏名】

委員:稲永健太郎会長、仲道誠明副会長、中野敏明委員、永尾達夫委員、保井享委員、後藤正典委員、森川直行委員、山鹿孝之委員、吉野耕造委員、忠津孝委員、佐々木庸敏委員代理(江藤裕一委員の代理)、山本義美委員、篠崎和美委員

随員・オブザーバー:西日本鉄道(株) 藤岡伸親氏、野中景介氏、九州運輸局福岡運輸支局 近藤祐介氏、福岡県交通政策課 渡邊俊介氏

事務局:市長・中村隆象、経営企画課長・大浦康志、経営企画係長・中野幸弘、経営企画係・藤本耕次郎、中田学

【委員に配布した資料の名称】

資料番号	名称
	第1回古賀市地域公共交通会議次第
1	古賀市地域公共交通会議委員名簿
2	古賀市地域公共交通会議設置要綱
3	公共施設間シャトルバス実験運行の目的、運行ルート等について
4	平成29年度 古賀市バス路線図
5	公共施設間シャトルバス運行ルート(案)

【会議の内容】

1. 市長あいさつ及び委嘱書交付

■市長

皆さんこんにちは。市長の中村でございます。本日はお忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。古賀市の直近の状況としては、高齢化率は約25%であり、将来的には3人に1人程が高齢者になると推測されています。人口についてはここ1年で250人ほど増加しており、住宅開発なども進んでいますので、しばらくは人口増加が続いていくと考えられます。現在の人口は58,691人ですが、近い将来においては60,000人程度、市総合振興計画においても65,000人を目標としているところです。全国的には人口減少が始まっていますが、福岡都市圏においては人口増の状況にあり、古賀市も工場の誘致などによりこの傾向を進めていきたいと考えております。

しかし、高齢化は進行しており、いわゆる交通弱者と言われる方は増えていくと考えられ、市民や議会の関心もたいへん高いところであり、我々も頭を悩ませています。市としましては、市内の

交通については西鉄バスさんを基幹的な交通と考えており、カバーできないところを補完交通としてタクシー事業者さんなどと連携して交通手段の確保を行っていきたいと考えています。本日は市から新たな補完交通についてご提案をさせていただきたいと考えています。本日は様々なお立場の方に来ていただいておりますが、それぞれのお立場でのお知恵やご要望などを忌憚なくお聞かせいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

[市長から委員の代表に対し委嘱書交付。交付後、市長、他の公務のため退席]

■経営企画課長

ほかの皆様方の委嘱書につきましては、机上にて交付させていただいております。

続きまして自己紹介に入ります前に、地域公共交通会議設置要綱について説明させていただきます。

[古賀市地域公共交通会議設置要綱について事務局より説明] 資料2

2. 自己紹介

[委員からそれぞれ自己紹介] 資料1

3. 会長・副会長の互選

[会長・副会長について立候補がなかったため事務局より会長に稲永健太郎委員、副会長に仲道誠明委員を推薦。全委員が承認した。会長に稲永健太郎委員、副会長に仲道誠明委員を選任]

○会長

ICT を公共交通に活用するという取組を福岡都市圏中心に行っています。最近では宗像市・福津市・新宮町・久山町・須恵町などと連携させていただいております。日頃から公共交通についてコミュニティバスを身近に見ているという立場から参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

○副会長

この会議が実りあるものとなるよう委員の一人として努力いたします。よろしくお願いいたします。

4. 会議・会議録の取り扱いについて

[古賀市情報公開条例に基づき、会議を公開とする事務局案のとおり全委員承認] 資料3

- ・会議は公開とする。傍聴者数は会場の都合から5名以内とする。
- ・傍聴要領については事務局案のとおり。
- ・会議録は発言者氏名を伏せ要約筆記とし、作成後、委員に郵送を行い、変更がなければ承認とみなす。

5. 公共施設間シャトルバスについて

[公共施設間シャトルバスについて事務局より説明] 資料3・4・5

○会長

ただいまの公共施設間シャトルバス説明について説明がありましたが、本日は計画案についてお持ち帰りいただいて、次回の会議の中で協議を行っていただければと思います。今までのところでご意見やご質問がありましたらよろしくお願いいたします。

□委員

資料3の3ページの障がい者割引についてですが、身体障がい者については、明記されているが精神障が

い者についても対象となるのでしょうか。

■事務局

「身体障がい者手帳等」としてありますが、西鉄バスさんや近隣のコミュニティバスと同様に精神障がい者福祉手帳を提示していただくことにより100円でご利用していただけるようにしたいと考えています。

□委員

要望になりますが、新原から薬王寺までの道路が拡幅されているので薬王寺の奥までいく路線があったら、新原の人も助かると思うのでぜひ、バス路線を通してほしいと思います。

○会長

ご意見ありがとうございます。

□委員

今回は新たにコミュニティバスを設けるという提案ですが、このようなとき大切なのが既存の交通機関との整合性でして、整合性というのは結節や乗継、運賃ということになります。今回コスモス館まで運行するというところで、既存の西鉄バスの6番系統はコスモス館までの運賃が240円であるため、150円で運行してしまうと6番系統でコスモス館に行く人が少なくなってしまうのではないかと思います。また「選果場前」「町川原」のバス停については古賀駅からの運賃が210円であり、将来的に地元から意見がでてくるのではないかと思います。

■事務局

既存の西鉄バスとの運賃との兼ね合いについては慎重に検討しないといけないと認識しています。しかし、乗合バスとしての設備が整っていないタクシー会社さんが所有するジャンボタクシーを利用しての運行であるということ想定しており、距離別運賃とした場合の運転手さんの負担が大きくなってしまうということと、利用者にとって分かりやすい運賃ということを重視して均一での運賃を考えています。

□委員

以前にお客さんが待てる時間は20分程度というのを聞いたことがあります。それ以上だとお客さんは他の手段を探してしまう。説明では1時間に1本程度とあったがそれでは敬遠されてしまうのではないかと思います。せめて30分に1便程度必要じゃないでしょうか。ある交通事業者が運行頻度を増加させたら、利用者もかなり増えたというのを聞いたことがあります。黄色のラインで資料4に示している行き先番号7番の系統に至っては、8時間に1本程度であり、こういったものは運行していないのも同然のように思います。そういったところを考えてもらったらと思います。

■事務局

今回提案した路線については、バス一台で運行したいと考えており、片道約20分の行程となっているので、往復となると運転手さんの休憩時間なども加えると1時間に1往復程度の運行頻度になると考えています。過去の利用実績から考えると1時間に1往復程度でも妥当ではないかと考えています。

□委員

便数が多ければ利用もしやすくなるので利用者も増えるかもしれないし、1時間に1往復程度であればそれに応じた利用者しかいないと思います。

■事務局

そういったこともあるかもしれませんが、限られた予算をどの程度まで投入するかというところもあります。便数を増やすとなれば車両も2台以上用意しないといけませんし、その分費用も増えることになります。

□委員

公共交通というのであれば、ある程度の運行頻度は必要だと思います。

○会 長

ご意見ありがとうございます

□委 員

従前のサンコスモシャトルバスとの相違点とはどこになるのでしょうか。

■事務局

従前のサンコスモ無料シャトルバスとの相違点としましては、まずルートが市役所からサンコスモ、隣保館の3地点のみを1時間に2往復程度運行していました。今回の提案は、これらの他に利用者が見込まれると予想されるコスモス館、JR 古賀駅と新たに整備された市民活動の拠点であるリーパスプラザの3拠点を追加して有料化するというものであります。

□委 員

そうなりますと、距離が延びたことと、有料化したということですね。バスの大きさも変わるのですか。

■事務局

バスの大きさは、10人乗り以下のいわゆるジャンボタクシーということで変更はありません。

○会 長

ありがとうございます。

□委 員

コスモス館には、現在も西鉄バスは来ています。先ほど委員が言われたように利便性が低いと敬遠されます。コスモス館には年間に40万人のお客さんがきますが、その半数は古賀市民です。ただ買い物の荷物があるので既存のバス停までの50mの距離が困難というお客さんが増えてきています。今までアンケート調査を平行していますが、平成18年、平成21年の調査ではお客さんの年代の多い順番は、60代、50代、70代でした。しかし平成27年の調査では、60代、70代、50代に変わり、お客さんについても高齢化が進んでいます。お客さんの移動手段は、これまでマイカーが90%以上でしたが、だんだんと、利便性が高い公共交通機関とこのを待たれているお客さんの声も増えてきているように感じます。利便性が高い公共交通機関ができれば、コスモス館の利用者は増えると思います。ぜひ実現していただきたいと思います。

○会 長

ご意見ありがとうございました。

□委 員

運行日までのスケジュールはどのように考えていますか。

■事務局

公共交通会議の中で計画について承認をいただきましたら、新年度予算で運行事業者の選定を行いまして、その後運行に係る申請を運輸支局に行い、最短で7月以降に運行が開始されるものと考えています。

□委 員

費用はどのくらいを見込んでいますか。

■事務局

以前に西鉄宮地岳線の廃止に伴う代替運送としてミニバスというのを有償で運行していましたが、こちらの一日当たりの運行経費が2万5千円程度でしたので、これをベースに考えると平日のみの運行で年間700万円程度になるかと考えています。

□委 員

コスモス館としては、土日も運行してもらった方がいいんじゃないですか。

□委 員

コスモス館は、土日はかなりお客さんが混雑していますので、平日の利用者が増えるとありがたいです。

□委員

運行時間はどのように考えていますか。

■事務局

公共施設の開庁時間が8時30分から17時までなので、その間の運行を考えています。ダイヤについては今後詰めていきたいと考えています。

□委員

福津市や新宮町はなどの公共交通機関にかかる予算はわかりますか。700万円というのは費用としてあまりにも少なく感じました。私たちも70歳近くなってきましたので、そろそろ公共交通について真剣に考えないといけないと思ってきました。

○会長

今回の提案は、古賀駅からコスモス館までの紺色の破線で図示された系統のことですね。

□委員

ほかの系統についても、便数が少ないのでそれらを増やす全体的な提案も必要だと思います。そうしないと公共交通に関する問題は解決しないと思います。

■事務局

今回の提案は、あくまで古賀市が主体となって新規に運行する路線についての提案です。それとは別に、西鉄バスさんが市内全域を運行している薦野線については市が経費を補助しながら路線を維持しています。委員が言われた全体的な問題については、市も課題として捉えています。今回の提案とは分けてお考えいただければと考えています。路線全体の話については、市も西鉄さんと継続的に協議を行わせていただいておりますし、公共交通会議を継続していく中で改善策などについても検討していくものと考えています。

○会長

6番、7番系統の料金や重複路線についてご見解などありましたらお聞かせください。

□委員

市から料金や重複路線について具体的な提案がありましたので、料金のことなどについてお客様に混乱を招かない方法があるのか、そもそも重複している路線がこのまま運行していいのかなど持ち帰り検討させていただきたいと思います。

○会長

ありがとうございます。

□委員

今回の提案は、市から公共施設を利用していただきたいという目的の提案であり、地域の住民の中からこういうものがあってほしいという要望から盛り上がってきたというものではないということによろしいですか。ということであれば、先ほど委員から提案があった薬王寺までの路線についても今後課題として残っていくということですよ。

■事務局

今後検討していくことになると思います。

○会長

地域公共交通会議がそのような意見を検討していく場になると思います。委員の皆さんのご意見は第2回の方でも協議していきたいと思います。

□委員

冒頭のあいさつで市長から西鉄バスさんを基幹交通として考えているというお話もありましたが、タクシー会社にも全体的な交通の在り方について相談があつています。工業団地の企業から従業員の通勤についての相談もありました。市も地元区などと予算やルートなどについてもっと相談されたらよいのではと思います。

○会 長

ご意見ありがとうございます。皆さまから多くの意見をいただくことができました。今回資料の提示があつていますが、追加で必要な資料などありましたらお知らせください。

□委 員

近隣のコミュニティバスの運賃の割引制度について資料を次回の会議に出していただければと思います。

■事務局

承知しました。

○会 長

お持ち帰りいただいて、追加で必要な資料がありましたら事務局にお知らせください。

□委 員

この時期は、各行政区の区長の改選の時期になりますが、次回はいつごろになりますか。

■事務局

今回の提案については、2回程度で協議していただければと思っておりますので3月中に第2回を開催させていただければと考えています。

○会 長

次回ですが、新たな資料の提示や提案内容の修正などについて協議を行いたいと思います。事務局より日程案を出していただいているのですか。

■事務局

[3月13日(火)午前中、3月14日(水)午前中、3月23日(金)終日のいずれかを提案]

□委 員

各行政区の総会などが3月中旬ごろあり内容を相談したいので23日(金)を希望します。

□委 員

23日であれば、午前中を希望します。

○会 長

23日(金)の午前中ということで皆さんいかがでしょうか。

□委 員

(異議なし)

■事務局

3月23日(金)午前10時からということでご案内を送らせていただきます。

○会 長

それでは第1回古賀市地域公共交通会議を閉会します。ありがとうございました。

(了)